

## 議長定例記者会見（R2.6.30）

### （報告）

お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。  
ございます。

それでは、まず初めに、第302回定例会採決結果について  
報告いたします。

知事提出議案38件のうち、議案12件を可決・同意し、報  
告のみが26件ございました。

議員発議案につきましては、提出された3件のうち、2件を  
可決し、1件が否決となりました。

次に、議会改革検討委員会からの報告について申し上げます。

議会改革検討委員会に検討を依頼しました「災害時等におけ  
る情報提供」につきましては、6月25日、議会改革検討委員  
会の三橋一三委員長から「県民の生活等に重大な影響を及ぼす  
災害等については、災害対策本部等から全議員に、適時適切に

情報提供される体制を構築することが適当である。」との報告がございました。そして、同日開催いたしました各会派代表者会議において、報告のとおり了承されました。

その後、事務局から執行部に情報提供への協力を要請し、報告書のとおり実施することで合意されました。

これにより、執行部との速やかな情報共有が図られ、執行部と一体となった対応や施策の推進に協力できるなどの効果が期待できます。

最後に、本日の議会運営委員会で導入が決定されました「一般質問の再質問、質疑での執行部の自席答弁」ですが、答弁者の移動時間の短縮による活発な議論が期待されることに加え、様々な場面で新型コロナウイルス感染症への感染予防・拡大防止対策を講じているところですが、答弁者の移動抑制や、演壇マイクの使い回し回数的大幅な減少につながり、更なる感染防止効果が期待できるものでございます。

設備設置後の定例会から実施することとし、円滑な議会運営に資することを大いに期待しております。

以上でございます。

## (質問)

### ○記者

今議会で、様々な改革がなされましたが、今後、さらに考えられるのは、どのようなものでしょうか。

### ○森内議長

まず、大切なのはコロナウイルス感染症対策でございます。感染症対策関連の議案も可決されておりますので、感染防止対策等を先にやらなければならないと思っております。

議会改革については、三橋議会改革検討委員会委員長に依頼して、緊急事態発生時の連絡体制は、これまで議長、副議長及び総務企画危機管理委員長限りでしたが、全議員に情報提供されるようになることで、一歩も二歩も前進したのではないかと

考えています。

議会運営等については、様々検討されており、今議会前から継続している課題もありますが、やはり、まずは、コロナウィルス感染症対策を徹底して行い、その後、その時点で検討すべき項目について検討していくような進め方になるのではないかと考えております。

#### ○記者

手話言語条例が本議会で可決されましたが、聴覚障害者への伝達手段について、今後、議会運営委員会あるいは議会改革検討委員会に諮る考えはあるのでしょうか。

#### ○森内議長

まず、手話言語条例とは、今まで以上に聴覚障害者への支援を厚くしようという内容であると受けとめていますが、議場内で手話通訳を行うメリットとデメリット、手話通訳者は何人必要か、費用はどれくらいか、いろいろ検討しなければならないことがあります。

それらを検討する中で、どのように聴覚障害者が満足できる仕組みにしていくか、これから考えていかなければならないと思っております。